

常温合材の活用推奨

日合協、土日完全閉所推進へ 施工者に性能アピール

日本アスファルト合材協会（日合協、今泉保彦会長）

は、土日に常温合材の積極的な活用を推奨する。働き方改革の一環として東京アスファルト合材協会（東合協、馬場利之理事長）が目指す合材工場の土日完全閉所を支援する目的。車道・歩道舗装も可能な「重交通対応・全天候型常温合材」などがあり、加熱合材の品質規格を上回る製品も流通している。日合協は各会員工場に対し、施工者へ常温合材の活用を積極的にアピールするよう求める。

日合協は「4週8休の定着」「土日休業の推進」を目指し、2024年1月に日本道路建設業協会（道建協、西田義則会長）と共同で「働き方改革推進宣言」

を行った。東京地区のアスファルト合材工場は働き方改革の対応策として、土日の閉所推進に取り組んでいる。ただ休日施工は依然としてニーズがあり、少量の合材の出荷依頼にやむを得ず土日に工場を稼働するケースが見られ、職員の休暇取得の妨げとなっている。

常温合材は東京都建設局の土木材料仕様書に記載があるものの、ポットホールなど小規模の補修材料として使用するものとされている。このため仮復旧の段階でも使用が認められていない材料との誤解が、普及の妨げになっているという。

重交通対応・全天候型の常温合材は、水と反応して硬化し天候に左右されないため簡単に施工できる。耐流動性や圧縮強度、耐摩耗性など性能試験の結果、都建設局土木材料仕様書の品質規格に適合。加熱合材と同水準の性能を持つという。

自社倉庫にストックしておくことで緊急時や休日施工への備えになるほか、合材工場への引き取り手間が省けるなど施工時間の短縮にもつながる。災害時には加熱合材のよくな温度低下に伴う出荷範囲の制限がなく、全国で搬送可能なため防災や災害対応の強化にもつながる。

